

現代音楽の魅力

小櫻 秀樹 (作曲)

演奏 平田 文 (ヴァイオリニスト)

司会 渕野 昌 (中部大学 理学教室 数学)

総合科目講義 2004年6月23日 於 三浦幸平メモリアルホール

以下の résumé は、小櫻と渕野の打ち合わせに基づいて小櫻のコンセプトを渕野がまとめたものです



左は、講師の小櫻秀樹氏が現在住んでいるスウェーデンの首都、ストックホルムの街並の写真です。

0) 講師の紹介

1) 平田 文氏による [1] の演奏. 作品の作曲者 小櫻秀樹の自作に関するコメント

2) 平田 文氏による [2] の演奏.

3) 現代音楽とは? — 西洋のクラシック音楽の延長線上で作られている 20 世紀以降の音楽作品

— “現代音楽” の始まりは? [3], [4] の録音の抜粋の演奏.

— 現代バイオリン作品の特殊奏法とその記譜法. キーワード: スル・ポンティチェロ, バルトーク・ピチカート, コル・レーニョ etc.

— 平田 氏による, 小櫻の作品からの [1] いくつかの特殊奏法の実演.

4) 小櫻 秀樹のオーケストラ作品 [6] (部分) のテープ演奏. この作品を例として, 現代オーケストラ曲の記譜法について.

5) 電子音響技術の進歩がもたらす新なる可能性

- 電子音楽の歴史
- 初期の電子音楽の作品例 ([7], [8])
- ライブ・エレクトロニクスの可能性 ([9], [10])
- 音響サンプル[11] とそのフィルタリングによるエフェクトの実演

6) 21世紀の“現代音楽”は？

講義で演奏／録音演奏（予定）の音楽作品

(* 印は抜粋のみの演奏)

- [1] 小櫻 秀樹 (1970 –), ソロ・バイオリンのための “Zwischenstück” (2003).
- [2] Johann Sebastian Bach (1685 Eisenach – 1750 Leibzig), 無伴奏バイオリン・ソナタ第1番 BWV 1001 より, Adagio (1720).
- [3] Claude Debussy (1862 Paris – 1918 Paris), “Estampes(版画)”, 第1曲 Pagodes(塔), (1904) *
- [4] Gustav Mahler (1860 Kalischt – 1911 Wien), Symphonie Nr.5 より Adagio (1904) *
- [5] 武満 徹 (1930 – 1996), “雨の樹 (Rain Tree)”, (1981)*
- [6] 小櫻秀樹 (1970 –) “Zigzag Concerto” for Orchestra (2004)*
- [7] Karlheinz Stockhausen (1928 bei Köln –), “Gesang der Jünglinge” (1956)*
- [8] Pierre Schaeffer (1910 Nancy – 1995), “Orphée” (1953)*
- [9] Steve Reich (1936 New York –) “Different trains” (1988)*
- [10] __, Electric counterpoint (1987)*
- [11] 小櫻秀樹, 音響サンプル.